

令和元年度新人体育大会 柔道競技大会 実施要項

1	大会名	令和元年度長野県高等学校新人体育大会柔道競技大会
2	主催	長野県高等学校体育連盟・長野県教育委員会
3	共催	公益財団法人長野県体育協会・長野県柔道連盟
4	後援	長野市教育委員会・信濃毎日新聞社
5	主管	長野県高等学校体育連盟柔道専門部
6	期日	令和元年11月1日(金)・11月2日(土)
7	会場	長野運動公園総合体育館 <長野市>
8	日程	開会式 11月 1日(金) 10時00分～ 競技開始 11月 1日(金) 10時30分～ 11月2日(土) 9時30分～ 閉会式 11月 2日(土) 14時00分～
9	参加資格	県新人大会参加資格に準ずる 専門部の特例 男子団体試合Ⅰ部は3名、男子団体試合Ⅱ部及び女子団体試合は2名でエントリーが可能。
10	参加制限	<p>(1) 参加数 男子 団体Ⅰ部・Ⅱ部とも校数制限なし(地区予選を経ること) 個人7階級各8名 女子 団体校数制限なし(地区予選を経ること) 個人7階級各8名 ※個人試合においては、8名に満たない地区が出た場合、他地区より抽選により補充する。</p> <p>(2) 男子団体試合Ⅰ部 1校1チーム、監督1名、選手8名とする。 試合ごと5名のオーダーを提出して試合を行う。</p> <p>(3) 男子団体試合Ⅱ部 1校1チーム、監督1名、選手4名とする。 試合ごと3名のオーダーを提出して試合を行う。 (2名のチームのオーダーは中堅・大将とする。) 男子団体試合Ⅰ部に出場したチームはⅡ部には出場できない。Ⅱ部に出場したチームはⅠ部には出場できない。 男子団体試合Ⅱ部に出場するチームは高体連登録が4名以内のチームとする。</p> <p>(4) 女子団体試合 1校1チーム、監督1名・選手5名とする。 試合ごと3名のオーダーを提出して試合を行う。 (2名のチームのオーダーは中堅・大将とする。) 男女とも全日制・定時制を区別してチーム編成すること。</p> <p>(5) 個人試合 計量に合格した者とし、補欠の補充は認めない。</p> <p>(6) その他、以下の点に留意すること。 ア 脳震盪について 大会前1か月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(尚至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること)。練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。 イ 皮膚真菌症 皮膚真菌症(トリコフィトン・トンズランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行う。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、原則として大会への出場を禁止する。(ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める)</p>
11	参加料	1000円
12	競技規則	国際柔道連盟試合審判規定および、全国高体連柔道専門部申合せ事項による。
13	競技方法	<p>(1) 第1日目 男女団体試合 トーナメント戦 但し参加校数によって競技方法を変更する場合もある。 第2日目 男女個人試合 トーナメント戦</p> <p>(2) 試合時間は男女団体・個人ともにすべて4分とする。</p> <p>(3) 団体試合における「優勢勝ち」の判定基準は、「技あり」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差2」とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。</p> <p>(4) 個人試合及び団体試合代表戦における「優勢勝ち」の判定基準は、「技あり」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差2」とする。同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア方式)により勝敗を決する。延長戦に入った場合、従来どおり「技あり」以上もしくは指導差がでた時点で勝敗を決する。</p>
14	表彰	男女団体・個人(各階級)とも3位までに賞状を授与する。
15	その他	<p>(1) 男女個人の計量は会場にて1日(金) 8:30～9:00、1日(金)団体試合終了後、ならびに2日(土) 8:30～9:00に行う。選手はいずれかで計量に合格すること。 計量の服装 男子 「上半身裸」、下は「短パン」とする。 女子 「上半身Tシャツ」、下は「短パン」とする。</p> <p>(2) 大会申込みは、各地区大会終了直後地区専門委員長に申込むこと。</p>
16	問合せ先	専門委員長 土屋智子 丸子修学館高校 TEL0268-42-2827